総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

（地方創生の取組関係）

○登録者情報

鈴木 若子（すずき わかこ）

所在地　　宮城県七ヶ浜町

組織名・所属　役職

株式会社のびしろ 代表取締役社長 /
株式会社ウミマチセブン　代表取締役社長 /
一般社団法人 七ヶ浜町観光協会 理事
REZIN 代表 /
しちがはまツーリズム 代表

略歴

平成 23 年　企画デザイン REZAIN(リザイン) 設立　代表に就任
令和 3 年　しちがはまツーリズム 設立　代表に就任
令和 4 年　一般社団法人七ヶ浜町観光協会 理事に就任
令和 7 年　地域商社　株式会社 のびしろ 設立　代表取締役社長に就任
　　株式会社ウミマチセブン　設立　代表取締役社長に就任

○主な取組内容・実績

＜七ヶ浜まるごと学校プロジェクト＞

・令和 3 年度　町全体を“学びのフィールド”とした体験型教育・交流事業「七ヶ浜まるごと学校」を開始。町内の漁業・食・環境・文化をテーマにした体験プログラムを展開し、交流人口の拡大を実現。
・令和 5 年度　町の知名度向上と住民主体の地域発信力強化に寄与。

＜七ヶ浜ブラック（地域資源の高付加価値化事業）＞

・令和 4 年度　地域の未利用資源“イワガニ”を活用した新商品開発を開始。高齢漁業者と連携し、地域ブランド「七ヶ浜ブラック」を立ち上げ。
・令和 5 年度　商品が仙台市代表として SMTS2023 に出展。地域産業の高付加価値化と SDGs 型事業として高評価を獲得。

・令和 6 年度　町内給食に採用され、SDGs 教育教材としても活用。販売数・メディア露出ともに目標値を上回り、KPI を達成。

＜ヨットセイルアップサイクル事業＞
・令和 4 年度　七ヶ浜町のヨット文化を背景に、地元大学ヨット部と連携し廃棄予定のヨット帆を再利用するアップサイクル事業を検討開始。
・令和 5 年度　「セイルバッグ」シリーズを開発し、市内デパートとの催事販売を実施。環境省のプログラムで学んだサーキュラーエコノミー（循環経済）の実践モデルとして評価。
・令和 6 年度　催事回数・販売実績ともに前年を超過。町の環境ブランド価値向上と若者層への認知拡大に貢献。

＜海浜清掃・地域防災啓発活動＞
・令和 2 年度　東日本大震災の経験を基に、持続可能な海岸環境を守ることを目的とした清掃活動を開始。
・令和 3 年度　環境省プログラムを修了し、地域防災・環境教育活動を強化。
・令和 4 年度～6 年度　毎週土曜日に継続実施（3 年以上継続中）。参加者延べ 1,000 人を超え、町民主体の環境活動として定着。

＜七ヶ浜町 DX 推進・高齢者スマホ教室＞
・令和 4 年度　町の DX 化方針に基づき、高齢者向けスマホ教室を開設。デジタルデバイド（情報格差）の解消に寄与。
・令和 5 年度　参加者満足度 90%以上を記録し、行政サービス利用率向上に貢献。

＜地域力創造アドバイザー事業（利府町）＞
・令和 5 年度　地域力創造アドバイザーとして利府町と契約。地域おこし協力隊の伴走支援・育成プログラムを実施。
・令和 6 年度　人材定着率・地域関与度ともに向上し、KPI 達成。地方創生アドバイザーとして県内他自治体への展開が進む。

＜土地活用ハンズオン事業＞
・令和 6 年度　七ヶ浜町における企業と土地のマッチング支援「土地活用ハンズオン事業」を受託。
・町内企業のローカルベンチマーク（企業の健康診断）を通じ、新規事業展開可能性を発見・提案。
・初年度で 3 件の企業マッチングを成立させ、町内事業投資の拡大を促進。

＜宮城県農山漁村発イノベーション人材育成研修＞
・令和 5 年度　県主催のイノベーション人材育成研修にて、七ヶ浜町をフィールドワークの拠点として提供。
・地域資源の価値創造と起業人材育成に関する実践的講義を担当し、参加者満足度 95%以上を達成。

＜プロモーション・デジタル人材育成活動＞
・令和 4 年度　宮城大学にて社会人向け DX リスキリング講義を担当。SNS マーケティング・デザイン思考を中心に指導。
・令和 4～6 年度　商店街 NEXT リーダーセミナー講師として県内商業者のデジタル販促力向上を支援。
・令和 4 年度　多賀城市にて起業向け SNS マーケティング講座を開催。

＜Around the World! in Shichigahama（アラウンド・ザ・ワールド！インしちがはま）＞
・令和 5 年度　七ヶ浜町・七ヶ浜国際村事業協会と連携し、既存イベント「インターナショナルデイズ」のリブランディングに向けた検討会を立ち上げ。国際交流・文化観光・地域ブランディングを横断する新たなコンセプト設計を担当。
・令和 6 年度　「Around the World! in Shichigahama」として初開催。第 1 回はタイ王国の“ピーターコーンフェスティバル”をテーマに、アート・食・音楽・伝統文化・教育を複合的に展開。サンドアートや流木アート、タイ屋台、ワークショップなどを通して、地域の国際文化交流と観光振興を実現。

＜イベント・地域交流活動＞
・令和 4～6 年度　「新海苔だよ全員集合 モンスターイベント」開催。海産物ブランドと観光の融合を実現。
・令和 4 年度　「渚の BEACH CAMP ツーリズム 2023」を開催。観光・教育・環境を横断する地方創生型イベントとして高評価。第 1 回「JATA SDGs アワード」経済・産業部門 奨励賞受賞。
・令和 5 年度　「花渕地区夏祭り」で人口 900 人の地区に 4,000 人を誘客。地域の活力と交流人口拡大に顕著な成果を上げた。

＜市内飲食店を活用した東北の「美酒・美食」の魅力発信機能強化事業＞
・令和 7 年度　仙台市文化観光局東北連携推進室、一般社団法人東北絆テーブル、株式会社のびしろ、連携先 DMO・商工会ほかと協働し、事業実施に向けた検討会を立ち上げ。八戸・女川町・七ヶ浜町・山形市・の 4 エリア連携方針を確定。
・令和 7 年度　同事業を開始。初年度は市内飲食店でのフェア開催（年間 4 回）、メニュー

開発支援と生産者・酒蔵の連携構築、現地送誘客導線（QR 誘導・ウェルカムプレゼン）、情報発信（公式 SNS・WEB・PR・広告）に取り組み、参加飲食店の質確保・来店動機化・広域連携の可視化等の成果をあげた。

○その他

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

アドバイザー取組分野　一覧

氏名：　鈴木 若子

【公営企業関係】

対象事業	下記のうち、助言可能な事業に〇を付してください（複数回答可）					
		1	水道事業		11	船舶事業
		2	簡易水道事業		12	港湾整備事業
		3	工業用水道事業		13	市場事業
		4	軌道事業		14	と畜場事業
		5	自動車運送事業		15	観光施設事業
		6	鉄道事業		16	宅地造成事業
		7	電気事業		17	駐車場整備事業
		8	ガス事業		18	介護サービス事業
		9	病院事業		19	その他事業（　　）
		10	下水道事業		20	第三セクター等

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに〇を付してください（複数回答可）					
	事業共通		1	地方公営企業法の適用	8	事業廃止、民営化・民間譲渡
			2	DXの取組	9	料金改定
			3	GXの取組	10	PPP/PFI、包括的民間委託、指定管理者制度
			4	経営戦略の策定・改定	11	施設の統合・廃止
			5	公立病院経営強化プランの改定・経営強化の取組	12	経営診断・コスト分析
			6	上下水道の広域化	13	維持管理コストの効率化
			7	第三セクター等の経営健全化	14	その他（　　）
	各事業分野	水道事業・工業用水道事業			病院事業	
			1	水道料金関係（滞納整理等）	1	地域医療提供体制の機能分化・連携強化
			2	アセットマネジメント	2	医師等の確保・働き方改革
			3	施設の統廃合・共同利用（広域連携含む）	3	経営形態の見直し
			4	システム導入・更新（システム共同利用による広域連携含む）	4	経費削減等の病院経営の効率化
		軌道事業・自動車運送事業・鉄道事業・船舶事業			5	診療報酬の最適化
			1	運転手・技術職員の確保対策	6	病院建替の基本構想・建替計画の策定
			2	運転手の労務管理	7	病院建設費のコスト削減
			3	車両（船舶）整備の低コスト化	8	病床機能転換及び診療体制の一体的見直し（公立病院医療提供体制確保支援事業の基礎的支援）
		電気事業・ガス事業			下水道事業	
			1	技術職員の確保対策	1	施設建設コスト（老朽化対策含む）の効率化
			2	原材料調達の低コスト化	2	システム導入・更新（システム共同利用による広域連携含む）

【地方公会計の整備・活用関係】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに〇を付してください（複数回答可）		
		1	固定資産台帳の整備・早期更新
		2	財務書類の整備・早期作成
		3	施設別・事業別等の財務書類の作成・活用
		4	公共施設マネジメントへの活用

		5	公会計情報（指標等）を用いた財政分析
		6	その他（　　）

【公共施設等総合管理計画の見直し・実行関係】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください（複数回答可）		
		1	中長期的な維持管理・更新等の経費の見込み等の推計
		2	公共施設等に係る方針の策定・取組（更新・長寿命化、統合・廃止等）の支援
		3	全庁的な体制の構築やPDCAサイクルの確立（数値目標の設定を含む）
		4	総合管理計画の予算編成等への活用
		5	その他（　　）

【地方公共団体のDX関係】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください（複数回答可）		
		1	DXの機運醸成
		2	情報システムの標準化・共通化
		3	マイナンバーカードの利活用の推進
		4	行政手続のオンライン化
		5	データ利活用・EBPM
		6	BPR・業務改革
		7	自治体職員のデジタル人材への育成
		8	外部デジタル人材の確保
		9	セキュリティ対策
		10	消防防災DX
		11	その他（　　）

【地方公共団体のGX関係】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください（複数回答可）		
		1	屋根置きなど自家消費型の太陽光発電
		2	地域共生・地域裨益型再エネの立地
		3	公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導
		4	住宅・建築物の省エネ性能等の向上
		5	ゼロカーボン・ドライブ
		6	資源循環の高度化を通じた循環経済への移行
		7	コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり
		8	食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立
		9	その他（　　）

【地方公共団体間の広域連携】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください（複数回答可）		
		1	公共施設の集約化等
		2	専門人材の確保
		3	事務の共同実施

【地方税務行政のDX等】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください（複数回答可）		
		1	課税事務の効率化
		2	徴収事務の効率化

【地方創生の取組】

取組分野	下記の取組分野のうち、最も当てはまるもの1つに○を付してください		
		1	持続可能な生活環境の創生
		2	地域経済の高付加価値化
		3	若者・女性から選ばれる地域づくり
	○	4	地域への人の流れの創出